

一般質問通告一覧表

令和8年 第1回定例会

質問 順序	議員名	質 問 項 目	細目方 式選択	リター 順序
1	加藤 徹己	1 フレックスタイム制導入で行政課題 対応力強化を		
2	井上 松子	1 多世代が交流できる居場所づくりを		
3	丑若 浩行	1 本別ジャンクションの「フル化」整備 スタート！本別の未来は？	○	
4	方川 一郎	1 安定した産業推進のため後継者に 支援を		
5	藤田 直美	1 人事評価制度の効果的な運用と人 材育成でやる気アップ!!		①
6	梅村 智秀	1 町財政は限界だ、直ちに町国保病院 の改革を	○	
7		2 地域公共交通の充実で住み続けら れる本別へ	○	②
8	阿保 静夫	1 より一層の農業振興への対応は		

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 2 番

議員名 加 藤 徹 己 (1問目)

質問事項	フレックスタイム制導入で行政課題対応力強化を		
質問要旨	<p>本町は、人口減少及び若年層流出で高齢化が進んでいます。加えて若手職員の人材確保・定着、子育て支援、移住定住促進、地域活性化、防災対策など多様化・高度化する行政課題への対応力強化が求められています。このことから、職員の柔軟な働き方が可能なフレックスタイム制導入が必要であると考えますが、見解を伺います。</p>		
<p>要 旨 の 明 細</p> <p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>本町の役場開庁時間は、午前8時30分から午後5時15分で、職員の勤務時間は、基本的に1週38時間45分、実働1日7時間45分であり昼休みの休憩時間を1時間としています。</p> <p>フレックスタイム制は、職員自身が一日の始業・終業時間を決めて勤務する制度で、仕事とプライベートの調整を図り、業務の状況に応じて労働時間を効率的に配分して業務効率を上げる制度です。</p> <p>フレックスタイム制を導入することで、職員の働き方改革を進めるとともに、子育て中を含めた若者の人口流出対策及び、町民への生活利便性など行政サービス提供体制の強化、地域活動との連携による町の活性化を図ることが可能になると考えます。</p> <p>フレックスタイム制導入には、課内の職員が一同に会する「コアタイム（10時から15時までなど）」を設け、意思疎通を図るとともに課内を横断した業務遂行が可能な、現在のスタッフ制機能をさらに充実させることが重要であります。</p> <p>また、役場の開庁時間に「フレキシブルタイム」を必要に応じて設けることができますので、業務繁閑への柔軟な対応や早朝・夜間二一</p>		
質問の相手	町 長 ・ 教 育 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

要
旨
の
明
細

ズ、災害時や緊急時の弾力的運用など様々な行政課題への対応力強化につながります。

さらに、町の活性化では職員の地域活動参加促進、地域イベント支援体制の強化に加え、副業による地域貢献活動などが期待されます。

職員の柔軟な働き方は、若い職員や専門人材確保・定着、U・I・ターン人材の呼び込み、育児世代の離職防止など町の魅力向上への効果があると考えます。

このことから、制度導入の先進地事例を参考にするなど、導入可能な部局から段階的にフレックスタイム制を導入する考えについて、見解を伺います。

※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 9 番

議員名 井 上 松 子 (1問目)

質問事項	多世代が交流できる居場所づくりを		
質問要旨	<p>昨年12月に開催された本別高校2学年による「とちち創生学・模擬議会」において、生徒から「世代を超えて誰もが交流できる場所が欲しい」という研究発表がありましたが、高校生の提案の実現に向けて、町の見解を伺います。</p>		
<p>要 旨 の 明 細</p> <p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>高校生からは、「町民同士が気軽に集える場の不足」そして、「地域に存在する空き家などの資源を活用したい」との視点が示され、大変意義のある提案であったと感じました。私自身も近年は隣近所のつながりが以前に比べて希薄になっていると感じる場面が多くあります。一方で町内のいくつかのお店では、自然に人が集まり、お茶を飲みながら情報交換や会話が生まれている様子も見受けられます。</p> <p>こうした状況を踏まえ、多世代が気軽に立ち寄り、交流ができる拠点づくりは、地域のコミュニティの維持・活性化の観点から非常に重要と考えます。</p> <p>例えば町内にある空き家や空き店舗、遊休公共施設などを活用したイベント開催など、世代を問わず集える空間・仕組みづくりが必要と考えますが、町の見解を伺います。</p>		
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一般質問通告書

議席番号 3 番

議員名 丑 若 浩 行 (1問目)

質問事項	本別ジャンクションの「フル化」整備スタート！本別の未来は？		
質問要旨	<p>道東自動車道本別ジャンクションの釧路方面と北見方面を直接接続する「フルジャンクション化」が令和8年度に着工する予定です。この事業により、本別インターチェンジ経由で分断されていた釧路・北見方面の高速ネットワークが直結され、利便性が大幅に向上することが見込まれます。このフルジャンクション化によって本別にもたらされる未来について伺います。</p>		
<p>要旨の明細</p> <p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>将来的に本別フルジャンクションが完成された時に備えて周辺地域も含めて準備が必要です。今から期待されるメリット、想定されるデメリットを把握したうえで、より良い本別町の姿を描くことが重要であると考えます。このことから以下について見解を伺います。</p> <p>1、十勝・釧路・オホーツクの3圏域の「ハソ（結節点）」となる交通・物流の要衝となり、一時保管・積み替えに最適な立地条件が整います。長距離ドライバーの休息地や各方面からの荷物を集約・仕分けして再配送する「中継物流センター」の誘致も可能になります。このようなアドバンテージを活かすためのアイデアは。</p> <p>2、産業、特に基幹産業である農業への影響も期待されます。これまでは日持ちのする豆主体の特産品が多かったですが、これからはただの産地から高付加価値な食のプラットフォームへと進化していく必要があります。JA本別町と協力し地域一体で新しい農業の形を示していくべきですが考えは。</p> <p>3、ふるさと納税の返礼品として本別町単体での品を用意してきまし</p>		
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

要
旨
の
明
細

たが、道東3圏域に交通網を構築できる強みを活かして「本別のまめ・釧路の海鮮・北見の玉葱」などの欲張りセットなどコラボ返礼品が作りやすくなります。そのような他市町村との連携の考えは。

4、本別フルジャンクションの完成によって、十勝・釧路圏とオホーツク圏が強固に結ばれます。本別町を単なる『通過点』ではなく交流の拠点とするための戦略が不可欠です。道の駅を中心とした観光振興や周辺自治体との広域連携による観光ルートの策定について町長のビジョンは。

5、大規模災害時における広域ネットワークの重要性が高まっています。本別フルジャンクションによるダブルネットワークの構築が、本別町及び周辺自治体の防災力強化につながると考えます。それらを踏まえた防災計画の見直しについて伺います。

また、災害時や冬季間の交通遮断にそなえ、道東全体の物資を一次保管する「防災物流備蓄基地」としての機能を、官民連携で検討すべきと考えますが町の見解は。

※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 8 番

議員名 方 川 一 郎 (1問目)

質問事項	安定した産業推進のため後継者に支援を		
質問要旨	<p>近年、後継者が町に戻ってこない状況にあり、農家・商店の減少が続いています。</p> <p>今後の対応について伺います。</p>		
<p>要 旨 の 明 細</p> <p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>町では、新規就農対策・新たに起業をした方々への支援策はありますが、農業・商業の学校卒業後の家族継承者としての後継者には支援がありません。</p> <p>そこで、以下の考えを伺います。</p> <p>1、現状、農家戸数の減少・商店の減少の実態をどう捉えているのか。また、過去5年間での農業・商業の後継者は何人くらいあったのかを伺います。</p> <p>2、後継者が町に戻ってこない状況が続くと、町の発展はもとより、まちづくりに多大な影響があると思いますが、現状をどう捉えているのか伺います。</p> <p>3、後継者が戻ってきた場合には、奨励金あるいは祝金を支給するなど、または後継者が事業展開・投資をした場合、事業費の一部を補助あるいは利子補給すべきと思います。これには農協・商工会とも連携していくべきと思いますが、考え方を伺います。</p>		
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 7 番

議員名 藤 田 直 美 (1問目)

質問事項	人事評価制度の効果的な運用と人材育成でやる気アップ!!		
質問要旨	<p>高度化、多様化する町民ニーズを的確に捉え適切に対応し、厳しい財政状況により、効率的な行政運営が求められる中、近年本別町の未来を担う若い職員の離職が続いていますが、一定以上の成果をあげた職員のやる気向上につなげるべきです。また、能力向上のための人材育成の考えを伺います。</p>		
<p>要 旨 の 明 細</p> <p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>人事評価制度の導入を義務づける地方公務員法の一部が改正され、2016年より実施されています。それぞれの能力や実績等を的確かつ公平に評価、把握した上で、適材適所への人事配置や給与の面での処遇の改善を図ることにより、職員のやる気、チャレンジ精神を導き出し、自発的な能力開発を促すことを目的としています。</p> <p>1、職員一人ひとりが仕事に対するレベルアップや知識、能力の向上などを図る人材育成が重要と考えますが、令和9年度の全職員への人事評価反映に向けて、町の見解を伺います。</p> <p>2、職員の自発的に行う研究活動を支援するべきと思いますが、研修や資格取得、地域活動参加のための支援の考えを伺います。</p> <p>3、人事評価に基づき年齢にとらわれない昇任や適材適所の配置など、現在いる人材を最大限に活用して行政運営を図ることが重要だと考えますが、適性に合った配置やプロフェッショナルな職員育成についての考えと、職員の希望に配慮した人事異動となっているのか伺います。</p>		
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 5 番

議員名 梅 村 智 秀 (1問目)

質問事項	町財政は限界だ、直ちに町国保病院の改革を		
質問要旨	町財政が厳しいとの見解が繰り返し示されているなか、町国保病院の赤字補填のために多額の一般財源が繰り出しされている。町財政への影響を軽減し、病院を維持し続けるためにも、直ちに抜本的改革が必要であるが事実と所信を質す。		
<p>要 旨 の 明 細</p> <p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>町財政が厳しいなか、歳入増、歳出減や事務の効率化をはかるための具体的提案その2とする。</p> <p>今定例会においても、一般会計から病院会計に対し、赤字補填のために9,000万円以上の繰り出しが提案され、議会により可決承認された。</p> <p>1、町財政は厳しく、行財政改革を行わねばならない状況下であるが、現時点における町財政の概況と基金残高（総額ならびに財政調整基金、減債基金）、今後の見通しについて改めて問う。</p> <p>2、町国保病院の規模縮小について検討がなされている旨の言及があったが、時期や範囲、程度等について改めて問う。</p> <p>3、外来診療科の見直しをすべきで、小児科、循環器内科については町内民間診療所で受診が可能であることから、病診連携を強固なものとするを前提に廃止をすべきである。両科の近年（R5～7年）の収支実績と傾向、所見を問う。</p> <p>4、不採算かつ医療従事者の負担の大きい救急医療体制（24時間365日）の見直しをすべきで、本町と同様に病院運営が厳しい近隣域での病病連携を行うべきである。救急受付の近年（R5～7年）の収</p>		
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

<p style="text-align: center;">要 旨 の 明 細</p> <p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>支実績と傾向（症状の軽重、他院転送数、町外患者数等）、所見を問う。</p>
---	--

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 5 番

議員名 梅 村 智 秀 (2問目)

質問事項	地域公共交通の充実で住み続けられる本別へ		
質問要旨	<p>地域公共交通は町民の日常生活を支える重要なインフラであるが、高齢者等を中心とした交通弱者が不自由なく利用できる交通体系の整備はされておらず、未だ課題が多い。本別に長く住み続けていただくためにも早期に体制構築が必要であるが事実と所信を質す。</p>		
要旨の明細	<p>令和6年3月に本別町地域公共交通計画が策定され、へき地患者輸送バスのデマンド化や循環バスの減便などがなされているところ、利用者減が顕著で、利便性が高くはないことが明らかである。</p> <p>1、タクシーチケット助成(高齢者等生活交通支援事業)の拡充をし、利便性の向上とタクシー事業者の経営安定、あわせて利用の少ないその他交通体系の縮小・見直しをはかるべきであるが所見を問う。</p> <p>2、十勝バス帯広・陸別線の利用者減、町の負担増が著しく、本年も3200万円以上の負担が生じているため、本町の乗降実態の把握と沿線町村との協議を加速させ、早期に見直す必要があるが所見を問う。</p> <p>3、へき地患者輸送バスの市街地デマンド化に向けての具体的計画と展望について問う。また、計画を遂行する課内の体制についてもあわせて問う。</p> <p>4、町外への地域公共交通の充実化をもはかる必要がある。町内だけでは生活を完結できない方でも、健康で文化的に、本別で長く住み続けていただくために、帯広などで高度医療が受けられる、町内で購入ができない買い物やレジャー等が楽しめるための交通体系の構築が</p>		
※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること	質問の相手	町 長	一問一答細目方式 有 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

必要であるが所見を問う。

要
旨
の
明
細

※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること

一般質問通告書

議席番号 10 番

議員名 阿保 静夫 (1問目)

質問事項	より一層の農業振興への対応は		
質問要旨	農業資材価格の高騰等で依然として厳しい農業情勢と考えますが、今後の農業振興への対応について見解を伺います。		
<p style="text-align: center;">要 旨 の 明 細</p> <p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>町政執行方針では、資材費の高騰が経営を圧迫するなど非常に厳しい状況となっており、より一層の農業振興への対応が重要になってきていると述べていますが、町としての具体的対応策について伺います。</p> <p>1、資材費などの高騰対策として、1月臨時会で補正予算計上されましたが、さらなる継続した物価高騰対策が必要と考えますが、町の見解を伺います。</p> <p>2、新作物導入への研究などの取り組みについては、これまでも一般質問をし、答弁を受けてきましたが、これまでの進捗と、今後の考え方について伺います。</p>		
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)